

消化器内科この一年

消化器内科医長 齊藤 裕樹

【はじめに】

平成20年度の臨床業務もとても忙しかった。仕事の内容を一つ一つ確認しながらできる状況ではないので、周りのスタッフに迷惑をかけているだろうし、たくさんサポートしてもらっているのだろうと思う。

【異動について】

平成20年3月から4月にかけて山北が国内留学に出たため、5月から鈴木が大学から赴任している。何とか消化器内科5人体制は維持されている。

【御礼】

現在の当科の診療は研修医なしでは進まないの
で、研修医の先生方のご協力に大変感謝している。

【おわりに（私事）】

毎年2～3月にかけて「異動するのですか？」とよく尋ねられるが、今回は例年よりも多く尋ねられた。私も異動にして欲しいところだが、その希望がいつ叶うかは未定である。

以下当科の平成20年1月から12月までの検査件数を挙げる。

- 上部消化管内視鏡：2078件
- 上部治療内視鏡：115件
- 下部消化管内視鏡：1402件
- 内視鏡的大腸腫瘍切除術：182件
- 内視鏡的逆行性胆管膵管造影
(碎石術、ドレナージ術を含む)：251件
- 胃瘻（造設+交換）：26件
- 経皮経肝胆管ドレナージ（含交換）：13件
- 経皮経肝胆嚢ドレナージ（含交換）：21件
- 超音波内視鏡検査：71件
- 腹部血管造影（含治療）：20件